

# えひめ 地域づくり協働体通信

東温市の河之内地区にプレオープンしました移住交流拠点「kuromori (クロモリ)」、第10号では、ここを拠点の核として広がる「世代間連携」による地域創生プロジェクトについて、東温市集落支援員の森裕之さんにレポートいただいています。

皆さまの地域活動の参考にさせていただければ幸いです。

【東温市河之内（かわのうち）地区】

キーワード：世代間連携、地域拠点



## ●河之内の魅力を感じてもらうために

東温市の山間地域「河之内地区」は、白猪（しらい）の滝や唐岬（からかい）の滝などの景勝地があり、棚田の米づくりも盛んな里山集落です。映画の題材にもなった桜「陽光」ゆかりの地でもあります。このように豊かな地域資源に恵まれているにもかかわらず、地域に滞留する場所がないために通過のみの観光客が多く、河之内の「場」としての魅力が活かしきれていないという問題点がしばしば指摘されていました。

そこで、河之内地区の活性化をめざす住民団体「美しい里山 河之内」では、かつて酒販店としても使われ、古くから地域の拠りどころとなっていた空き家を改修し、拠点施設を整備しようと検討を始めました。これまでに何度も熱い議論を重ねた結果、若者たちから「マウンテンバイク (MTB) のショップを設置したカフェ型の拠点施設をつくりたい」という大胆かつ斬新なデザイン案が提案されました。

この提案に対し、当初年配者からは「誰が責任を持って施設を運営するのか？」「こんな山間部にコーヒーを飲みに来る客はおらん！」などの厳しい意見が相次ぎ、本プロジェクトが暗礁に乗りかけた時期もありました。

しかし、若者たちの本気度を知るにつれて任せて見守ろうという意見でまとまり、若者の発想とセンスを活かした拠点づくりが始まりました。

改修では若者たちが大活躍しました。石垣を崩して組み直したり、木材を塗装したり、壁を塗ったり……。プロの施工業者に学びながら、改修作業に奮闘する日々が続きました。そんな若者たちの姿を見て、日に日に手伝う地域内外の若手の姿が増え、さらには中高年世代の住民も手伝うようになって輪が広がり、まさに「世代間連携」による改修が進みました。



改修作業に大奮闘！

## ●プレオープンとこれからの展望

平成29年3月26日、移住交流拠点「kuromori (クロモリ)」がプレオープンし、ゲスト出店を迎えたオープニングイベントが開催されました。市内外から多くの人が集まり、トレイルライドを体験したり、プレートランチを味わったり、さらには地元農園が育てた薔薇の販売もあり、里山の持つ可能性を体感したイベントでした。「kuromori (クロモリ)」は今後、お洒落な異空間でランチやコーヒーを楽しむカフェや、標高985メートルの黒森峠に至る地区内の標高差を活かして楽しむマウンテンバイク (MTB) 事業を軸に、地域内外から若い世代を呼び込み、新たな人の流れと賑わいをつくる移住交流拠点をめざします。ぜひお立ち寄りください！

プレオープンの日には  
多くの方に来場いただきました！



【Facebook サイト】「美しい里山 河之内」

<https://www.facebook.com/kawanouchi>

● 地域の活動情報の連絡先/この情報誌に関するお問合せ先

愛媛県企画振興部地域政策課

TEL: 089-912-2236

E-mail: [chiikiseisak@pref.ehime.jp](mailto:chiikiseisak@pref.ehime.jp)

(公財) えひめ地域政策研究センター

TEL: 089-926-2200

E-mail: [info@ecpr.or.jp](mailto:info@ecpr.or.jp)